

安全に関する改善事例

記入日: 2005年 10月 31日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
梶毛ダム	広島県	広島県	G	49.0	225.6	94.8
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	ダム土工	重機事故・交通事故	人的要因・設備要因	運搬	有 : (無)	

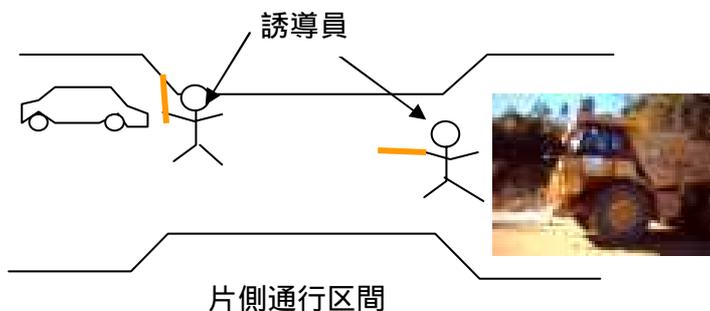
改善の概要: 自動センサー式信号システムにより無人片側交互通行実施
 ダンプを片側交互通行させるため、従来は誘導員を2名配置し、交通誘導をおこなっていた。
 改善後は片側通行区間の重ダンプの通行に、自動センサー式の信号システムを採用することにより
 無人安全通行が可能となった。

特許の有無
 有 : (無)

メリット:
 無人のシステムであり、誘導員を配置しないため、重ダンプの死角に誘導員が入る心配もなく安全に走行できる。簡単な構造なため故障も少ない。コスト的にも優れる。

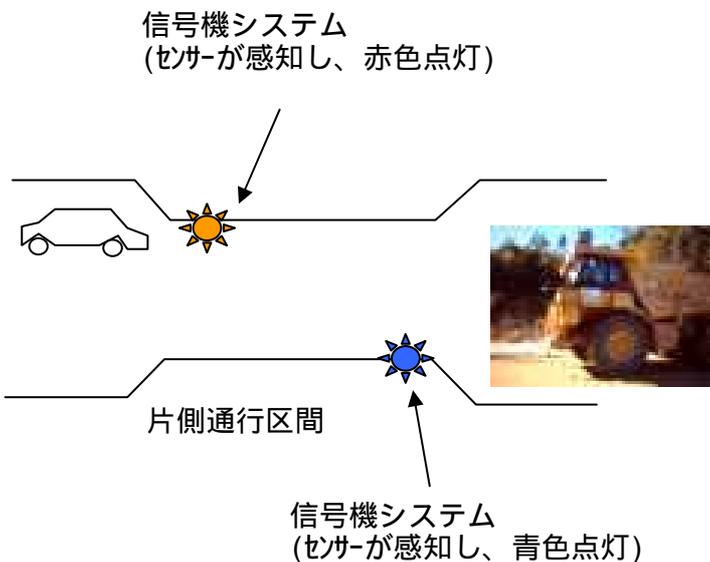
デメリット:
 特に無し。但し電源は必用。

改善前 (略図または写真)



片側通行区間を誘導員を配置し、片側交互通行させる。

改善後 (略図または写真)



重ダンプにセンサーを設置。

重ダンプが通行するとセンサーが感知し、反対側の信号が赤色点灯し、対向車両は通行禁止となる。